

背景は、匠保険適用物件第一号となった春岡幼稚園（埼玉県さいたま市）、屋上の改修工事（途中）の写真です。5ページを読んでいただくと分かると思いますが、園長先生は職人および今回の品質管理システムをよくご理解いただいております。このように消費者と職人がお互いに理解しあえば、確実に施工品質を確保することができるのです。



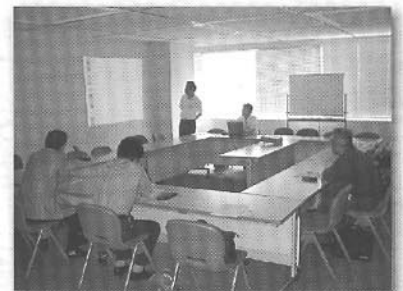
当協会の第1回通常総会が6月5日、練馬区役所会議室にて開催され、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算案などを審議、いずれも満場一致で可決承認されました。また総会終了後には、来賓およびマスコミ関係者を招き、盛大に懇親会を開催しました。



第4回技術者支援セミナーが7月27・28日の2日間、開催されました。田中理事による特別講義には参加者全員、熱心に耳を傾けていました。



技術者支援セミナーの席上、認定証の授与式が行われ搬入確認担当者に認定証が授与されました。なお今回は技術者の登録はありませんでした。



7月3日、施工会社を対象に営業支援セミナーを開催しました。大規模改修を受注するにはどうすればいいかなどをテーマに、熱心な討議が繰り広げられました。

# INDEX

- 2 | 考・リニューアル2 ●名前の見える仕事-----田中享二（理事・東京工業大学教授）
- 3 | 就任挨拶 ●「匠」がリニューアル市場に新しい風を-----毛塚 宏（代表理事）
- 4 | 管理組合紹介 ●ハイホーム小平（長期修繕計画と修繕積立金の改訂）-----飯泉健司
- 5 | 消費者の声 ●幼稚園に金髪ピアスがやってきた！-----荒井 （春岡幼稚園園長）
- 6 | 匠の魅力 ●何故！！ 匠（建築職人）は期待されないのか-----玉田雄次（正会員）
- 7 | Coffee Break ●和光市のシンポジウム-----斎藤克彦（正会員）
- 7 | INFORMATION ●関連業界・団体の動向
- 8 | 部会動向
- 8 | 事務局だより

## 名前の見える仕事



匠リニューアル技術支援協会  
理事

田中享二

(東京工業大学  
建築物理研究センター教授)

ついこの間までは、町には大工さんがいました。今だっているじゃないかという反論が聞こえそうですが、中身は随分様変わりしています。以前の大工さんは勿論、家を建てるひとですが、同時にその家をずっと見守ってくれるひとでもあったのです。だから住んでいて何か都合の悪いことがあれば、すぐ駆けつけて修理してくれ、あるいは使い勝手がよくなるようにちょっとした作業もやってくれるひとでもあったのです。

それが随分、様変わりしました。そもそも家を作るのに大工さんに頼むという発想すらも薄れつつあります。特に若いひとにとっては、家は車と同じように住宅展示場に行って選ぶものになりつつあります。これが良いのか悪いのかはわかりませんが、現実はそのなりつつあります。個人住宅でさえそうなのだから集合住宅ではなおさらのことです。住宅を売る人と買う人がお金を介してしかコミュニケーションが成立しなくなってしまったのです。

これは建築の仕事が匿名になってしまったことを意味します。建築の仕事は原則として設計者が建物を設計し、請負が仕事を統括し、施工者が施工するという構図のなかにあります。防水や塗装といった仕事はその構図の末端に位置しています。だから一所懸命仕事をして、仕事をした人の名前はどこにもでてきません。出てくるのは〇〇設計とか〇〇建設といった名称だけです。これでは匿名は魔物です。仕事のし甲斐がなくても仕方のないことだと思いませんか。匿名性を利用すると良いこともあります。こと建築工事では悪いことの方が多いのではないのでしょうか。多少手抜きをしても職人さん個人が罰せられることはまずありません。何せどこにもそのひとがやったという証拠はないのですから。

以前ある本でこういう話を読んだことがあります。何の本だったか確認しようと書棚を探しましたが見つかりませんでした。ですから記憶だけを頼りに書きます。大正か昭和初期の頃です。とある設計者が休日に、竣工間際になった建物を見に行ったのだそうです。仕事休みの日ですから誰もいないはずの現場に人の気配がしました。不思議に思いながら気配のする方向に、歩みよりました。そこは壁や天井を漆喰で仕上げた場所でした。そしてそこにはそれを仕上げた左官職人さんとその家族がいました。想像ですが、軽い昼食かなにかをとっていたのかもしれない。ややしばらくして、その職人さん一家は満足そうに静かにその場を立ち去りました。職人さんの仕事に対する誇りとそれを家族に見せたかった気持ちが、その設計者の心を打ったと書かれていました。僕も数行の短い文章でしたが、読み終わって深く感動しました。控えめながらも表れている職人さんの喜び、その家族を思いやる気持ちが伝わったからです。少しうらやましくさえ感じました。勿論この仕事は結果的に匿名になっています。ただどこかにその人の名前残されていれば良かったと思うのです。いい仕事に出会った時、その仕事、誰がやったのか知りたいと思いませんか。

リニューアル工事は、依頼者や住人がいます。新築工事と違って至近距離に頼んだ人がいます。相手だって仕事をしている人を見ています。そんな近接した関係の中で仕事が進められるのだったら、これはもう個人と個人との関係です。そうだとすると〇〇会社とか〇〇工務店といった名称よりも個人名を出して仕事をすべきではないのでしょうか。そしてその仕事が完了した時にどこかわかる所に、その名前を刻んでおく位のことはしても良いのではないのでしょうか。先の話のように、仕事の出来栄を家族に見せるような状況が生まれたら最高です。家族ぐるみの付き合いという言葉があります。これは強い信頼を意味します。仕事を頼んだ方も安心できます。以前の大工さんと依頼者との間には、お互い知っているわけですから特に名前まで必要はありませんでしたが、強い信頼が横たわっていました。だから仕事が終わったらそれでサヨナラではなく、以前の大工さんのようにいつまでも完成した仕事を見守ってほしいのです。昔と全く同じ形態は難しいと思いますが、リニューアル業務における新しい形での個人の参画は考えても良いのではないのでしょうか。匠リニューアルが先陣を切って一石を投じる価値はあると思います。

## 就任挨拶

6月の総会において、前代表理事の横超さんに代わり、代表理事を努めさせていただくことになった毛塚でございます。NPO法人にはパッション（情熱）とミッション（社会的使命）が大事だといひます。パッションが関係者に共有され、ミッションがより強固なものとなり、組織化が進むことが望ましいとも。私も情熱をもった人たちと出会い、共感を抱いて会員になった一人です。私はこれまで消費者の立場から「匠」に関わってまいりましたが、私なりに「匠」の役割を、賢い消費者と確かな技を身につけた職人や技術者を育成し、両者が出会う機会を増やし、そして両者の信頼性のもとでいい仕事が生まれる（安心して住み続けられる住まいづくり・まちづくり）という好循環を支援していくことにあると考えています。

ある資料によれば、分譲マンションのストックは約370万戸もあるとのこと、今後、リニューアル市場は急速に拡大していくことが予想されます。そうした状況のもと、「匠」のパッションとミッションがリニューアル市場に新たな風を吹き込むべく、関係の皆様と協力し、微力ながら取り組んでまいりたいと考えております。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、当「匠」は6月に総会を無事終え、その結果を東京都にも報告したところです。収支でいいますと、400万円弱の黒字ということになりました。NPO法人は、利益を関係者で配分してはいけないことになっておりますので、この収益は公益的な事業に再投資してまいりたいと考えています。

今年度は、これまで取り組んできた、消費者支援、技術者支援、品質確保、情報化推進の4つの部会の活動を拡充するとともに、新たに、建物調査診断やリニューアル工事の設計コンサルタントの認証、防水及び塗装工事関連の団体登録会員の勧誘、現場品質管理のデータベース化などに取り組むことにし

# 「匠」がリニューアル市場に新しい風を



NPO法人  
匠リニューアル技術支援協会  
代表理事

毛塚 宏

ています。

「匠」の存在が業界だけではなく、広く世間（消費者）に知っていただくためには、マスコミへのアプローチも重要です。その意味で、3月の玉田常務理事のNHKラジオタ刊への出演、7月の毎日新聞（埼玉東版）における小野瀬事務局長の記事掲載などは朗報でした。こうしたマスコミが「匠」の存在に関心をもち、記事として取り上げてくれそうな（パブリシティ効果が期待でそうな）企画を積極的に考えていく戦略も必要だと思います。実は、9月に大宮のある幼稚園で、園児・父兄と職人とのふれあいイベントが開催されことになっています。ユニークな企画だけにどんな反響があるか楽しみです。



# 長期修繕計画と 修繕積立金の改定

## ハイホーム小平



飯泉健司（ハイホーム小平 前理事長）



今年、当協会と塗装（遊具等の塗り替え）を通じてのふれあい交流会を実施しました。

### ●長計で雑排水管を 共用部扱いに

昨年、長期修繕計画の作成と、修繕積立金の大幅な改定をしました。長計は築60年後を視野に入れ、築30年時に交換が予想される雑排水管を共用部扱いとした点に特徴があります。その計画に基づいて必要な金額を算出した結果、修繕積立金一戸あたり平均17,000円の増額をしました。居住者の理解と、コンサルタント会社の適切なアドバイスに支えられ、なんとか総会で可決されました。

しかし道は平坦ではありませんでした。

### ●m<sup>2</sup>250円以上必要

今回の改定以前、最初に修繕積立金改定案が総会に提案されたのは第4期でした。ところが、この案は管理会社側からの一般的な内容の提案であって、当マンションには適合しない箇所がありました。また、この時の総会は議決権数（4分の3）に達せず、決議自体が行えませんでした。私を含めて居住者の意識が低かったことにもよります。

そこで、第5期理事会では勉強会（修繕委員会の前身）を発足させ、居住者による具体的な長期修繕計画作成を目指しました。それにより分かったことは、以下の3点です。

- ①専門家による調査の必要性
- ②コンサルタントの必要性
- ③居住者の意識の向上

これを受け継いだ第6期理事会では、修繕委員会を中心に具体的な長計の作成に入りました。議論は白熱し、時には夜中まで続けられました。最初に改定額を見た時、皆、呆然・啞然・愕然の体。けれども住み良い環境を維持することの大切さを考えた結果、築60年後を見据えよう、それに必要な金額を積み立てよう、との共通認識を持つに至ったのです。更に「匠の会」主催の勉強会に理事が参加し、他マンションの情報を教えて頂きました。

m<sup>2</sup>200円以下では不足かつ不安。m<sup>2</sup>250円以上でやや安心。これが圧倒的なご意見でした。早速「組合速報」を各戸に配布し、居住者の理解を求めました。そのような理事・委員の努力のお蔭で、臨時総会では、大方の賛同を得て可決。

とはいうものの総会后、納得されない方からの投書があったのも事実ですが……。

### ●お金より人の和

総会決定を受けて、築6年の当マンションでは以下の工事を行いました。

- ①機械式駐車場を中心とした鉄部塗装
- ②駐車場舗装の打ち換え

見積りは三社からとりました。選定では、料金の高低ではなく、実績・技術、そして担当者の人柄を重視しました。長計の精神を生かしたかったからです。

工事は未経験ということでトラブル続きでした。代用駐車場の手配、車の移動、未確認水道管の破損等々。ただ有難いことに多くの助力がありました。好意的な居住者、不測自体を迅速に処理する管理会社、丁寧で細やかな仕事の職人さん、厳しいチェックのコンサルタント会社。お蔭で無事に終わることが出来ました。

正直、この時期の理事長は大変でしたが、逆にこの時期ならではの収穫もありました。お金では買えない、人の真心に触れることが出来ました。文化財でなくとも、多くの人が各々の立場から一つの建物を良くしようとする。それが平穏な生活と心の安らぎを導く。有り難い限りです。

私の前任理事長の口癖。

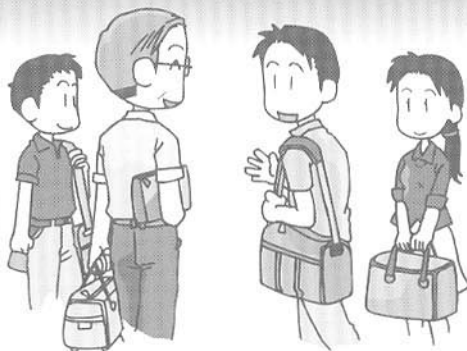
「自分達の家を大切に思うのは当然」  
法隆寺宮大工棟梁の言葉。

「木のくせ組みは、人組み」  
天の川 衆知を集め 光る宿（腰折れ）



ハイホーム小平全景

技術者の声



消費者の声

## 幼稚園に金髪ピアスがやってきた！

いきなり幼稚園の話で恐縮ですが、一般的に幼稚園の先生の仕事を大変クリーンなイメージで捕らえている方が多いように思っていますが、いかがでしょうか。確かに男の力仕事とは違いますから危険な場所や炎天下、或いは厳しい寒さの中で肉体的に大変きつい仕事が沢山あるわけではありません。

が、皆さんが思っている程クリーンではありません。はたから見ると子どもを相手に楽しく一日を送っているように見えるかもしれませんが、結構シビ



春岡幼稚園園長  
荒井 健司

登場です。防水と塗装の工事をこいつ等が（失礼）やるの？ やれるの？ と、今思うと申し訳ない初対面の印象でした。しかし、いざその仕事振りを拝見させていただくと・・・ウ～ン、ショック。無駄口一切たたかず、黙々と、そして細心の注意を払い、仕事に対する情熱と負けん気を噴出す汗に変えて、唯ひたすらに焼けたコンクリートと、くじけそうになる自分自身と戦う若者の姿がそこに在りました。

幼稚園教諭のイメージを多くの方が誤解されているように、私も金髪ピアスの若者を間違ったイメージでしか捕らえていなかったことにショック。こんな職人気質を持った若者がいることにショック。こんな若者を育てている会社があることにまたまたショック。大なるカルチャーショックです。

勝か負けるかのなかでベストワンを目指す若者だけでなく、自分は自分であることのオンリーワンを捜しもとめている若者のすがすがしい姿に触れられて、今幸せな気持ちでいっぱいです。「国は人、人造りは国造り」幼稚園教育の基本を登録施工業者のひたすらな若者に改めて教えていただきました。感謝。

《5年後、10年後どんな親方になっているのかなー。えっ？ 5年や10年で親方なんかになれっこね～。そんなあまくはね～ぞ！（社長談）でもこんな手の込んだ仕事をしていて登録施工業者さんダイジョブデッカー？》



改修の進む春岡幼稚園。規模の大きい幼稚園だが、恒常的な漏水に困っていたという。（写真は改修前）

アなのです。何がと一言で言えば、「見えている部分から見えないものを観なければならぬ」ところです。言い換えれば子どもの気持ちを察することです。これは子どもとドロドロの生活を送らないと上っ面だけの付き合いでは観えてこないものなのです。以外に簡単そうにみえて結構大変なんですよこれが・・・。なんとなく分かって頂けますか？

さて、そんな女性中心の幼稚園に、金髪にピアスにひげ面と、ごく一部のノーマルな若い男の軍団の

# 匠の魅力

## 第2回 何故！！ 匠（建築職人）は期待されないのが

玉田雄次 匠リニューアル技術支援協会 正会員

リニューアル市場は花盛り、しかしそこで行われているのは金儲け優先主義に走ったカラス達の食事会。いかに相手の弱みにつけこむか。そんな現場で職人が真剣にやるものが・・・。

### “少数の勝ち組み”

今、建築業界でのリニューアル部門は活況を呈しているが、勝ち組み（利益確保）は20社程度の管理会社・セネコン・リフォームセネコン等の大手企業であり、負け組みは数多くの下請企業と職人である。もちろん、工事発注者である管理組合の大多数は負け組みに入る。

「管理組合 知らないほうが幸せ」

### “的外れの業者選定”

設計コンサル（工事監理者）の業者選定規準は帝国テータバンク+経審=経営内容、施工実績（マンション改修）=改修実績、資本金=資金手当て等に高いハードルを設ける。多くの場合、コンサルは意中の業者が落札できるような選定規準を作り、更に確立するため理事他へ根回しをするという手の入れ様である。一般消費者は真しやかな選定規準を全て受け入れるのである。管理組合はコンサルからすれば赤子の手をひねるように容易に手中に落ちるのである。

「コンサルも金儲けを優先する」

### “見積査定のよりどころ”

完成品（車・冷蔵庫）の価格査定は容易だが、半完成品（材料+手指）の価格査定はプロ（専門技術者）でも難しいのにコンサル（図面引き）と一般消費者の混成部隊で解るはずが無いのに、何かを持って正しい結論を見出すのである。その何かとは第六感であろう。

「コンサルは占い師か！ 手品遣いか！」

### “ヒアリングの妙”

意中の業者の他敵社がヒアリングを受けるのだが、コンサル最後の仕上げ（金儲け）である。意中の業者にはその特長を引出すように、一方の競争相手には弱点を突く質問を投げかけ意中の業者の印象を良くするのである。完璧である。

「まさかの時の2番手……さすが」

ここで言うコンサルは設計事務所・管理会社である。

### “葬り去った作り手のこころ”

管理組合が発注する現場に職人は居ない、そこに居るのは職人の姿をした作業員である。

誰にも期待されず、誰にも評価されず、何の責任もない日当て働く日雇い労務者である。

誰がつくるか！ 誰が一生懸命やるか！ 誰が身につけた技術を使うか！ この現場では使命感・責任感・達成感は得られない。

「速く抜け出そう……そして一生……この現場をみない」

### “学習能力のない管理組合”

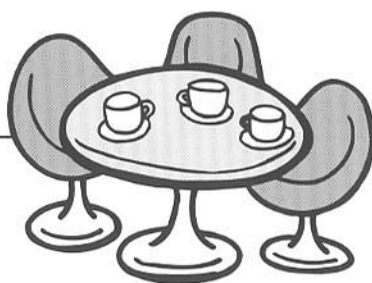
2度目の大規模改修工事が始まる。また、業者の姿を観ている。建物は泣き止まない…

「ふりだしに戻る……すぐろく」

職人曰く：やーい 日本人 何処行つた。

隠れ日本人曰く：……………。

次回は職人の技をお送りする予定です。



大規模改修セミナーの会場の申し込みをするため（電話予約ができない）Y市に赴いた。件の会場の申し込みを終え、帰ろうとしたときに受付してくれた事務職の女性からこのセミナーに参加してもいいかと質問された。

「1人500円いただきますが、お仲間を誘っておいて下さい。500円をはるかに超える内容です」と答えてから話を聞いてみると、今住んでいるマンションが築30年位で当初から住んでいるが、近頃は老朽化が目立ち、住人の誰もが今すぐにも補修の手を入れなくてはいけない事とは思っている。しかしそんな事を提案したら役員を引き受けざるを得なくなるので、区分所有者の誰もが言い出しがねている。起点を設けて開始しなければならないと思っている時に、私がヒョッコリ会場の申込みに現われたというのである。

実はこちらでもマンション住人に問題意識や知識を持ってもらい、ために、NPOを設立して活動している。多くの困っている人々を集める方法はないかと聞いたところ、Y市の広報に掲載してはどうかと言われた。私は早速、Y市役所に行った。昔と違って、役所の中をグルグル回される事もなく、担当の窓口を難なく見つけ出す事ができたが、その後がいけない。

なぜなら、広報に掲載するには条件があって催事案内に掲載する場合、Y市の後援あるいは協賛を得なければならない。しかし実際上、紙面の都合上、掲載の要望が多すぎて後援では掲載するのが不可能で、協賛になって始めて掲載できるというのである。それでは協賛を得るためにはどのような手続きを取ったらよいか？と質問をし、匠のパンフレットを示し、これまでの活動の経緯や趣旨を説明した。NHKのラジオにも出演したが、短時間の番組にも係らずその後、多くの問い合わせが寄せられ、中でもY市の

## 和光市のシンポジウム

住人からは一番多く寄せられた事も話した。しかし担当者はこれまでにY市は業者と協力してマンション住人のための相談会を複数回、開催しており、内容が重複すると言うのである。私がそもそも、こちらを尋ねたのも市職員の提案があつての事であつて、Y

市のマンション住民への取り組みが弱いのではないかと応戦した。この間30分、担当と称する係長が2名出てきて対応した（暇なのかな？）。

「趣旨は十分に分かりました。しかし地元の業者が優先なので・・・」

と言うので、

「我々NPOは、そもそも業者ではないし、営利を目的とした組織でもない。セミナーを開催する事で結果的に仕事を作りだす事になるかもしれないが、地元の業者に還元されるのでは」と言うようなやり取りを繰り返しているうちに話が元に戻ってしまう。段々、バカらしくなってきた。一部の上位者を除き、実務を行う下位の行政マンの発想には、従来の制度に固執しているだけなのである。つまり彼らには依然として、先ず行政、次に業者、最後に消費者がといるだけで、口ではNPOとは言ふものの、意識にはNPOというモノは存在していない。

\* \* \*

9月に和光市の主催でマンション住人のシンポジウムが予定されているが、そこにわが匠も改修のスペシャリストとして参加を要請された。Y市と比べるとかなり先進的である。NPOの活動としての意義も大きい。匠の正会員、賛助会員が一丸となってこのシンポジウムを成功させ、今後の活動につなげていきたいと思う。（高藤克彦）

## INFORMATION

### 【関連業界・団体の動向】

#### 平成14年度マンション管理士試験 要項発表される

平成14年度のマンション管理士試験の要項がこのほど発表された。

詳細は下記の通りだが、今年度の試験から、試験地として新たに広島市および那覇市が追加された他、国土交通省所管の国家試験としては初めて、インターネットのホームページからの受験受付を開始することになった。

#### ●試験期日および時間

平成14年12月8日（日）午後1時～3時

#### ●試験地

札幌市・仙台市・東京都・名古屋市・大阪市・広島市・福岡市・那覇市

#### ●受験手数料

9,400円

#### ●受験案内書

平成14年8月26日（月）から、財団法人マンション管理センター（各支部を含む）並びに都道府県および指令指定都市において配布される。

#### ●受験申込方法

##### 1) 郵送による受験申込

受験案内書に同封の郵便振替払込用紙により受験手数料を納付し、受験申込書類を9月13日から9月30日までにマンション管理センターに郵送する

##### 2) インターネットによる受験申込

9月13日から9月30日までにマンション管理センターのホームページ（<http://www.mankan.or.jp>）において必要な事項を入力し、指定のクレジットカードにより受験手数料を納付する

#### ●試験実施機関

財団法人マンション管理センター  
試験案内専用電話 03-3222-1611



## 消費者支援部会

### 1) 昨年度の活動結果

- 戸建て塗替えセミナー---2001/11 練馬区で開催(チラシ配布)参加数3人
- 大規模改修セミナー ---2002/1 練馬区で開催(練馬区報にて掲載)参加数40人
- 改修相談室の開設 ---2002/3 NHKラジオ第1放送「ラジオタ刊」で紹介相談数42件

### 2) 今年度の活動

- ◎大規模改修セミナー ---今年度も既に6回開催し、9月は埼玉県和光市に講師派遣予定
  - ◎消費者と職人のふれあい---職人さんを深く知っていただきたい
    - (1) ハイホーム小平管理組合で遊戯施設の塗替え塗装を実施しました。
    - (2) 9月にさいたま市の春岡幼稚園との共催で園児と職人のふれあい遊戯を予定
  - ◎他のNPOとの連携---都三県にあるNPOとの連携を図る
  - ◎出前セミナーの実施---各管理組合に出向き大規模改修ほかのセミナーを開催いたします
- 今年度は昨年度下拵えしたものを存分に活用し、効果有る活動を展開したいと思えます。

## 品質確保部会

### 1) 昨年度の活動結果

●認定登録事業	申請種別	申請数	登録数
工事会社	13社	5社	
材料商社	4社	1社	
現場管理者	13名	6名	
職人	73名	18名	
搬入確認担当者	4名	1名	
出荷管理責任者	4名	1名	

●講師派遣事業 消費者支援セミナー---延べ8名

### 2) 今年度の活動

- ◎認定登録事業 ---昨年度程度の登録数を確保
- ◎品質検査員の派遣事業---既に登録員より2物件依頼頂き、現在その1物件を検査中(9月より2物件目開始)
- ◎講師派遣 ---和光市主催のセミナー・消費者支援部会主催のセミナー講師派遣予定
- ◎材料認定登録事業 ---外壁防水と鉄部塗装の仕様の確立と材料の選定

今年度より品質確保部会の担う事業の全てが始動し、いよいよ一般消費者とふれあうようになります。責任重大であります。部員全員で精一杯活動に動しむ所存です。

## 技術者支援部会

第2期も、6月5日の総会に於いて承認を頂き、技術者支援セミナーを第4回を7月27日、28日に実施、また第5回を2月15日、16日に開催する予定です。

今期は特に、関係業者の啓蒙セミナーを各地域にて於いて開催し、この啓蒙セミナーを通じて業者及び技術者の参加を積極的に進めて参りますので、自薦、他薦を宜しくお願いいたします。

そして、登録された技術者の皆さんに対し、専門家の協力を頂き技術的、専門的勉強会を通じて更なる技術力の向上を目指して参ります。

今期も、協会の目的であります、「技術者、職人の地位の向上」に向かって技術者支援部会全員にて協力体制を取ってまいります。正会員各位のご協力をお願いいたします。

## IT化推進部会

### IT化推進部会の現在の事業

IT化推進部会は、昨期ホームページの立ち上げからパソコン教室の充実を図ることにより、協会のデジタル化の向上に向けて事業を行ってきました。特にパソコン教室については、個別訪問教室を実施して、各会社に出向き行うなど、できるかぎり受講者のための利便を中心に考えてまいります。

### IT化推進部会の今後の活動

本年度は、パソコン教室の充実はもちろんのこと、運用が滞りつつあったホームページの内容の充実を早期に図ってまいりたいと考えております。

また本年度は、協会としての大きなテーマともなっている「匠・品質確保ネットワークシステム」の構築を第一の目標としております。本テーマは、全国中小企業団体中央会より補助金を得て実施するもので、来年1月末までの構築を目標に鋭意活動を図る予定です。

基本的には7月からスタートした瑕疵保証保険適用第一号物件である春岡幼稚園を中心にシステム開発を目指そうとしています。今後ともご協力賜ることも出て参りますのでよろしくお願い致します。

## 事務局をより

平成14年6月5日(水)午後5:00より、練馬区役所20階会議室に於いて第1回通常総会を、連携させて頂いております他のNPO法人、一般消費者、業界各紙の皆様のご出席を頂き盛大に開催する事が出来ました。

早いもので、平成13年5月に東京都より法人の認証を頂きサアこれから頑張ろうと思っておりましたら、アツと言う間に一年が過ぎてしまいました。

これからも、正会員及び関係者各位の皆様のご協力を頂き目標達成に向かって進んでまいりたいと考えております。

この会報が皆様が届く頃から、さいたま市に於いて「瑕疵保険適台現場」の施工が始まります、会員及び関心のある方は是非見学にお越し下さい。

この現場は、職人、学生、園児とのトライアングルにて、有意義な広場を作り出し、職人と子供のふれあう姿を各紙にPRして参ります(詳細は事務局へ)。

今期も、協会の目的に添って消費者及び技術者支援セミナー並びに業界啓蒙セミナーを各地に於いて開催して

参ります(メール参照の事)。

その他、会員、技術者を対象としたパソコン教室を開催しておりますので、IT部会と相談し振るってご参加ください。

これまで一般消費者セミナーに参加し、消費者の皆様とさまざまな事について話し合っていました。消費者の皆様がどの様な事でお悩みになっているのかが良く分かる事が出来ました。是非会員各位に於かれまして、時間の許す限りご参加頂き消費者の声をお聞き頂きたいと思えます。

さて「第4回技術者支援セミナー」を7月27日(土)練馬区役所会議室、28日(日)練馬産業会館にて開催致しました。今回も数多くの技術者の参加を頂きますとともに、認定証の交付を行ないました。

事務局として、板橋区及び練馬区等に於いて各団体との連携を強化し、さまざまな協働活動を通じて協会発展に寄与して参りますので、ご協力頂きますようお願いいたします。